

甲府市議会だより

第 91 号

平成 3 年 11 月 1 日

編集・発行
甲府市議会だより
編集委員会
電話 (35) 7054
甲府市議会事務局



レインボープラン関連議案 など25案件を可決

9月定例会

九月定例会は、九月二十日に招集され、会期を三十日までの十一日間と決め、市長から提出された補正予算、条例の制定及び一部改正、請負契約の締結、人事案件など二十五案件について審議しました。

一般質問及び議案に対する質疑は、各会派より十一名が代表質問・個人質問を行い、市長等に答弁を求めました。

各常任委員会では、本会議においてそれぞれ付託された所管の案件について審査しました。

そして、最終日の本会議では、各常任委員長より付託案件の審査結果が報告され、教育委員会委員の任命に同意し、他の提出議案については、いずれも当局原案のとおり可決するとともに、国への意見書提出四件についても可決しました。

このほか平成二年度甲府市各会計別決算並びに各企業会計別決算の認定については、「決算審査特別委員会」を設置し、閉会中継統審査することを決め閉会しました。

おもな内容・ページ

- ・ 九月定例会要旨……………①
- ・ 一般質問……………②
- ・ 一般質問、定例会質問要旨……………③
- ・ 一般質問、決算特別委員会の設置……………④
- ・ 常任委員会審査の主な内容……………⑤
- ・ 請願・陳情の審査結果、処理結果……………⑥
- ・ 意見書……………⑦
- ・ 意見書、議員海外派遣、姉妹都市締結……………⑧
- ・ 議会を傍聴して、視察研修後記……………⑨
- ・ 請願・陳情のしかた……………⑩



九月定例会の一般質問は、九月二十四日から三日間にわたって行われ、各会派から十一名がレインボー計画、新病院建設、土地問題、中学校給食問題、都市開発など当面する市政の問題について、活発な質問を展開しました。

その主な内容は次のとおりです。

新市立病院建設

第三次総合計画の

中期(平成五～八年)に位置づけ

【問】新病院建設の見通しを示せ。

【答】現病院は、昭和三十九年に建設したものであり、老朽化、狭隘化がすすみ、診療にも支障をきたしており、利用者にも大変不便をおかけしております。

当病院の現有敷地面積は、隣接した二ヶ所合せて、約一万二千平米であります。また、この地区は、

都市計画法による準工業地域であり、建物の許容・容積率は二〇〇％、許容建ぺい率は六〇％となっており、建築基準法により現敷地では、これ以上の増築は不可能であります。最近、建設された全国と同規模自治体の平均が約三万平米程度でありますので、関連施設等も考えますと、高層化、機能的

な配置等の検討が必要であります。

また、建設場所については、地域の方々のご利用をいただいている経過、又は地域まちづくりと関連する意向等も十分に踏まえ、現在、病院側を含めた庁内調査、研究において、建設場所、規模、機能等を医療ネットワークと関係づけて立地の前提条件として調査研究を進めております。

なお、建設年度については、第三次総合計画の中期計画の中に位置づけ、最重要事業として取り組んでいく考えであります。

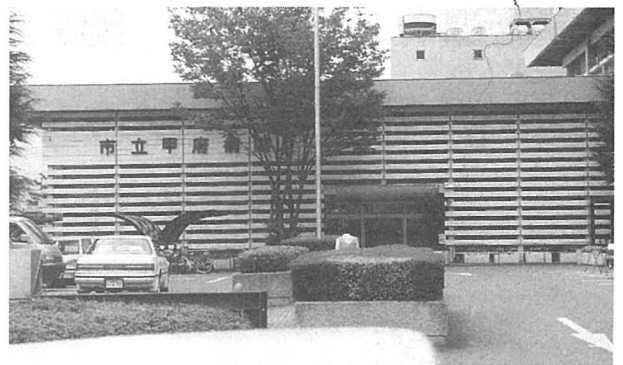
看護婦不足

深刻化

【問】看護婦不足対策として、市独自のナースバンクを設立する考えはないか。

【答】看護婦不足は、現在社会的な問題として深刻さを増しており、県内の病院で一部病棟閉鎖ということも報じられている状況であります。

看護婦不足の中で、潜在看護婦の掘り起こしとなる再就職の窓口でありますナースバンクは、現在、県の委託を受けて、山梨県看護協



会が全県下を網羅する形でナースバンク事業を行い、登録者へ定期的な情報等を行っております。

また、今年度より新たに、県下各保健所に看護婦就業相談窓口が開設されました。

市立病院についても、退職者はナースバンクに登録しながら連携をとり、既に数名の看護婦の紹介を受け、現在職場で活躍しております。

市独自のナースバンク設置については、広域の見地から取り組むことが適切で、国、県との連携を密にしながらい人材確保に努力してまいります。



九月定例会

審議日程

9月20日(金) 開会・提案理由の説明

30日(月)	29日(日)	28日(土)	27日(金)	26日(木)	25日(水)	24日(火)	23日(月)	22日(日)	21日(土)
本会議・各常任委員長報告・閉会	休会	休会	各常任委員会付託	本会議・質疑及び	本会議・質疑及び	本会議・質疑及び	休会	休会	休会

南北一体化を推進

JR線

甲府駅周辺



【問】甲府駅周辺の南北一体化構想が出ているが、新都市拠点整備事業との兼ね合いが必要になるのでは。

【答】甲府市の南北一体の発展と都市機能の強化には、JR線の立体交差の実現が有効的な手法と考

えております。

平和通りと武田通りとを結ぶことは、幹線道路による市街地の南北一体化になるものと考え、関係機関とも十分協議し、市民要望もふまえる中で、実現に向けて取り組んでまいります。

「中学校

完全給食問題」

女性議員問う

【問】中学校の完全給食実施より、教育施設の充実に力をいれるべきであるがどうか。

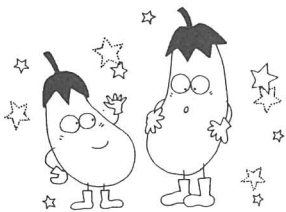
【問】中学校給食の要望は高いが市の考えは。

【問】中学校給食の検討状況について、また、審議機関を積極的に設けてはどうか。

【答】中学校給食については、中学校給食検討委員会からの報告書に基づき、その内容をつぶさに吟味しながら、現在、教育委員会では慎重に審議をしている過程であります。

今後の調査、検討の進展を見極めながら、見通しを明らかにしてまいりたいと考えております。

また、審議機関の設置については、市議会等の意向をも拝聴する中で、検討してまいります。



平成3年9月定例会質問要旨

氏名	会派	質問の要旨
飯島 勇	新社会クラブ 代表質問	一 市政運営に対する基本姿勢について 一 第三次総合計画の見直しとレインボープランについて 一 人事院勧告完全実施を
雨宮 年江	新社会クラブ 個人質問	一 合併処理浄化槽設置に対する補助金について 一 教育関係について 一 松枯れ防止の農薬散布について
大村幾久夫	公明党 代表質問	一 市政執行課題と第三次総合計画の見直しについて 一 高齢者福祉対策について
清水 節子	市政クラブ 代表質問	一 市長の政治姿勢について 一 市立図書館建設の促進について 一 福祉行政について 一 地域コミュニティセンターの建設について
加藤 裕	日本共産党 代表質問	一 中学校給食について 一 看護婦不足問題について 一 福祉タクシーについて
皆川 巖	無所属 個人質問	一 新市立病院建設について 一 福祉行政における高齢化対策について 一 市宮室内プール建設について
上田 英文	新政クラブ 代表質問	一 市長の政治姿勢について 一 行政の諸施策の進め方について
堀口 菊雄	新政クラブ 個人質問	一 北部山岳地域振興計画について 一 中央卸売市場について 一 善光寺敷島線について（古府中環状浅原橋線）
依田 敏夫	新政クラブ 個人質問	一 都市構想の諸問題について 一 新病院建設について 一 農業行政について
森沢 幸夫	新政クラブ 個人質問	一 甲府市消防団の活性化対策について 一 甲府市の人口増加対策について
海野平八郎	新政クラブ 個人質問	一 補正予算諸問題について 一 高齢者福祉対策について 一 入札制度について

総合的な土地利用 対策を

— 諸施策を展開 —

【問】市街化区域内の残存農地対策、及び土地利用について示せ。

【答】市街化区域内における五ha以上の集団残存農地が、平成

四年度に

予定され

ている線

引き見直

しで、

「逆線引

き対象候

補地」と

して、知

事より指

定された

経過があ

ります。

次回線

引き見直

しまでに

面的開発

が行われ

なければ

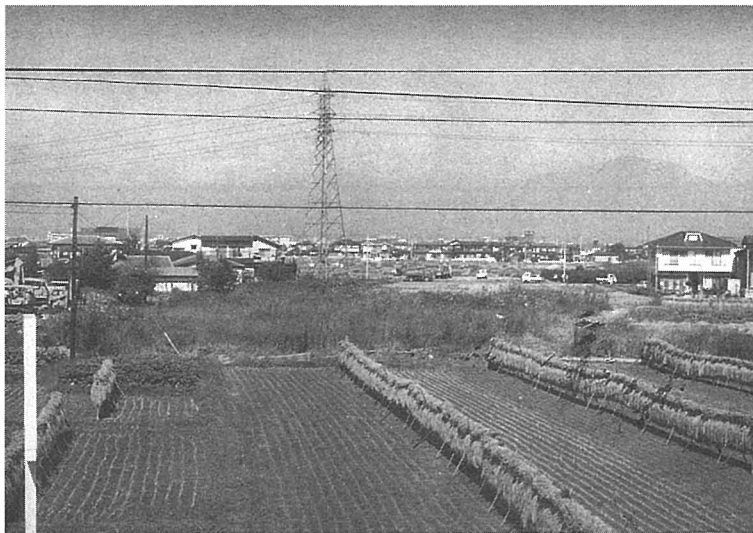
現況にお

きまして

は、市街化区域から市街化調整区

域に変更することも、やむを得な

いとの考えであります。



これを受け、当該区域の地権者の皆様に将来の街づくりについて理解を深めて頂くための説明会を開催し、地区地権者で組織する

「街づく

り研究会

を発足さ

せ、積極

的に取り

組んでお

ります。

この結

果、集団

残存農地

十六ヶ所

の内、半

数以上の

地区にお

いて区画

整理事業

に対する

認識が高

まり、事

業化にむ

けて積極

的な対応を図っております。

また、土地利用対策については、

近時の急速な土地利用の変化や、

その動向を踏まえ、新しい視点からとらえた土地対策を強力に推進する必要があります。

この度、補正予算にも計上しま

した「想定土地利用計画策定調

査」、「民間土地建設信託制度の

研究」、「農村振興土地利用計画」

及び「住宅分譲事業推進のための

土地開発公社機能の活用」等を図

り、総合的土地対策のための組織

づくりに取り組んでまいります。

北部地域振興

第二バイパス

構想早期

実現目指せ

【問】第二北バイパス構想の促進を県へ働き掛けを。

【答】第二北バイパスについては、

山梨県で作成されました県内一時

間交通ネットワーク構想において、

甲府市周辺を円形で結ぶ、新山梨

環状二号線の本市の北側部分を仮

称で第二バイパスと呼んでおりま

す。

現在は、構想段階であります。

県においては、今年度一部調査費

が予算化されていると聞き及んで

おりますので、この事業の早期実

現にむけ、促進を県に強く要請し

てまいります。

『レインボー甲府』

虹の架け橋のため

基金創設

【問】基金の積立について、市の考えを。

【答】新たな基金の積立については、「レインボー甲府21」の中心の柱であります。

市民一人ひとりが、健康で生が

いをもち、安心して生涯を過ごせ

るような、明るい住み良い福祉社

会の実現のため、ゴミ減量や、緑

化推進、更には、新しい時代を担

う心豊かな人づくり事業や市民が主体的に取り組む事業等、特定の目標達成のため設置するものであります。

一方、都市計画施設整備基金は、市民要望にこたえる都市基盤整備等を推進する上で、将来の安定した財源を確保するため積立を行うものであります。

今後、事業の推進にあわせ、積極的に活用してまいりたいと考えております。

決算審査特別委員会を設置



委員長
森沢 幸夫

副委員長

齊藤 憲二

委員

福島 勇

牛奥 公貴

海野平八郎

細田 清

堀内 征治

加藤 裕

依田 敏夫

飯沼 忠

狐塚 公男

堀内 光雄

中西 久

金丸 三郎

本定例会に「平成二年度甲府市各会計別決算の認定について」、「平成二年度甲府市各企業会計別決算の認定について」の議案が提出されました。

議会では、九月三十日の本会議でこれを審査するための「決算審査特別委員会」を設置しました。

そして、委員十四名を次のとおり決め、閉会中の継続審査に付することにしました。

委員会の審査結果は、十二月定例会で報告する予定です。



常任委員会

審査の

主な内容

総務委員会

◆甲府市消防団員等公務災害補償 条例の一部を改正

議案第六八号甲府市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定について、議案第六九号甲府市消防団員退職報償金支給条例の一部を改正する条例制定について、議案第七三号甲府市制一〇〇周年記念事業基金条例を廃止する条例制定について、議案第七四号甲府市総合市民会館建設基金条例を廃止する条例制定について、議案第六五号平成三年度甲府市国民健康保険事業特別会計補正予算（第一号）及び議案第六四号平成三年度甲府市一般会計補正予算（第二号）中当委員会所管分の六案については、いずれも全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。

◆市政功労表彰者の選考基準について

議案第八三号市政功労表彰者の決定については、全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決

しましたが、表彰者については、今後も選考基準及び手段をより明確にする中で、厳選するよう要望する意見がありました。

◆教育委員の選任を同意

教育委員会委員の任命については、全員異議なく当局原案のとおり同意するものと決しましたが、委員の任命にあたっては、今後同一人に偏ることなく広く市民各層から人材を登用するよう要望する意見がありました。

◆小選挙区制の導入に反対する請願は不採択

小選挙区制の導入に反対する請願については、小選挙区制は多数の死票を生み出し、国民の意志を正確に反映しないので採択すべきであるとの意見と、公職選挙法の改正について現在国会で審議中である。また、地方公共団体の権限の及ばないものであるので不採択すべきであるとの意見が出され、採決の結果多数をもって不採択とするものと決しました。

民生 文教委員会

◆甲府市新しい時代を担う人づくり基金条例を制定

議案第七二号甲府市新しい時代を担う人づくり基金条例制定について、議案第六六号平成三年度老人保健事業特別会計補正予算（第一号）及び議案第八六号工事請負

契約の締結について（甲府市立甲府商科専門学校増築（建築主体）工事）の三案については、いずれも全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。

次に、議案第六四号平成三年度甲府市一般会計補正予算（第二号）中当委員会所管分については、全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、簡易水道及び小規模水道事業予算に関して委員から、甲府市北部の地域は、本市の水道水源でありながら、この水を使用できず簡易水道等に拠っている。これら簡易水道等は、水量に乏しく施設の老朽化が著しいため、総体的な見直しが必要であり、また本市の水道水源を確保するためにこれら地域に対し、早急に恒久性を保てるような計画を立てるよう要望する意見がありました。

◆白内障人工水晶体（眼内レンズ）に関する請願を採択

白内障人工水晶体（眼内レンズ）に関する請願については、願意妥当と認め、採択するものと決しました。

また、留守家庭児童会に関する請願については、願意妥当と認め採択するものと決しました。なお、二件の請願については、三月定例会でその処理の経過と結果について、報告を求めます。

建設 水道委員会

◆甲府市明るくきれいなまちづくり基金条例を制定

議案第六三号専決処分について（交通事故の示談締結及び損害賠償の額の決定について）、議案第六七号平成三年度甲府市下水道事業会計補正予算（第一号）、議案第七十号甲府市明るくきれいなまちづくり基金条例制定について、議案第七五号昭和町の一部に公の施設を使用させることに関する協議について、議案第七六号八一号市道路線（濁川右岸一号线、濁川左岸二号线、向町九号线、古上条町一八号线、甲運二号线、寿・宝区画整理一号线、寿・宝区画整理二号线、寿・宝区画整理三号线）の認定について、議案第八二号市道路線（徳行清水新居線）の一部廃止について、議案第八四・八五号工事請負契約（平成三年度公営住宅（里吉団地）建設（建築主体第一工区）工事）・（里吉団地）建設（建築主体第二工区）工事）の締結について、議案第六四号平成三年度甲府市一般会計補正予算（第二号）中当委員会所管分の十三案については、いずれも全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。

次に、公衆浴場下水道料金値上げ幅圧縮の陳情については、願意

妥当と認め採択するものと決しました。

なお、本陳情については、三月定例会でその処理の経過と結果について報告を求めます。

経済 都市開発委員会

◆甲府市みどり豊かなまちづくり基金条例の制定

議案第七一号甲府市みどり豊かなまちづくり基金条例制定については、委員から資金の運用については、証券会社の不祥事が大変な社会問題になっているので、適切な運用をはかるよう要望する意見が出され、全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。

◆一般会計補正予算を原案のとおり可決

議案第六四号平成三年度甲府市一般会計補正予算（第二号）中当委員会所管分については、樹園地農道整備事業費に対して委員から、急傾斜地域における農道整備事業は、基幹農道整備事業と平行して、耕作農道も整備するよう県に対して強く要望すべきであるとただしたのに対し、当局から県に対して耕作農道も積極的に整備するよう要望していくとの答弁があり、全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。

請願・陳情の審査結果

請願

▽採択されたもの

〔民生文教委員会〕

○白内障人工水晶体（眼内レンズ）に関する請願（甲府生活と健康を守る会会長・秋山保太郎）

○留守家庭児童会に関する請願（朝氣留守家庭児童会代表・苗村久美子ほか）

○高齢者福祉・医療の充実を求める国への意見書提出を求める請願の三項（新日本婦人の会甲府支部代表・榊原亮子）

○学校事務職員及び学校栄養職員等現行の義務教育費国庫負担対象職員の範囲を堅持し、教育の機会均等水準維持向上のための請願（甲府市小中学校PTA連合会会長・山村勝一ほか）

▽継続審査するもの

〔総務委員会〕

○都市計画税の軽減を求める請願（甲府民主商工会代表・相沢平次郎）

○日朝国交正常化早朝実現を求める

る請願（日朝友好山梨県民会議会長・塚原嘉造）

○福祉タクシーの設置と助成を求める請願（甲府市武田二丁目二十四・日原一郎）

○「子供の権利条約に関する条約」の早期完全批准を求めるための請願（甲府市小中学校PTA連合会会長・山村勝一ほか）

▽不採択になったもの

〔総務委員会〕

○中学校完全給食を求める請願（甲府市の中学校給食を実現する連絡会会長・小林豊子）

○小選挙区制の導入に反対する請願（小選挙区制・政党法導入に反対する山梨県連絡会代表・加藤啓二）

平成三年 三月定例会採択の

請願はどう処理されたか

市長 結果 報告

精神薄弱児（者）・身体障害児（者）のための通所授産施設に関する請願（甲府市中心身障害児（者）と共に歩む会「のぞみ会」会長・今井和子ほか）

の中期事業として位置づけ、これの早期実現に向けて、現在類似都市の状況を調査しております。

心身に障害を持った方々の社会参加や社会復帰の中核的施設として、相談・指導・訓練・通所授産等の機能を備えた『心身障害者総合福祉センター（仮称）』の建設を甲府市第三次総合計画

また、重度の障害児（者）の更正施設につきましては、県および関係機関の協力を得ながら、県内ネットワークの中で、対応していきたいと考えております。

▽審議未了になったもの

〔総務委員会〕

○国民健康保険への国庫負担増額を求める国への意見書提出に関する請願（新日本婦人の会甲府支部代表・榊原亮子）

陳情

▽採択されたもの

〔建設水道委員会〕

○公衆浴場下水道料金値上げ幅圧縮の陳情（甲府浴場組合組合長・平賀一正）

▽継続審査するもの

〔経済都市開発委員会〕

○「朝日二丁目愛宕町線」道路計画について陳情（朝日二丁目地区代表・篠原 裏ほか）

▽撤回されたもの

〔建設水道委員会〕

○公衆浴場下水道料金据え置きの陳情（甲府浴場組合組合長・平賀一正）

シンポジウムの語源は



（雑学おもしろ百科より）

シンポジウムというと、何やらむずかしく聞こえますが、複数の人間が講演を行った後、質疑応答を行う討論会のことをいいます。

この語源は古く、古代ギリシャでよく行われた、酒と音楽と談論の集いを意味する「シンポシオン」という言葉が発端となっています。

プラトンの代表的著作「饗宴」も、このような場から生まれたのです。

それが次第に、酒や音楽ぬきの学問的討論会のような性格が強くなってきました。

捨てればゴミ 生かせば資源

ごみの減量化にご協力を



政 府
関係機関

意見書 関係機関 へ提出

学校事務職員・学校栄養職員の給与費を国庫

負担の対象外とする措置に反対し、教育の

機会均等水準の維持向上を求める意見書

国は、来年度の予算編成に当たり、国に比べて地方財政の方が豊かになっているとみて、義務教育諸学校に勤務する学校事務職員・学校栄養職員の給与費を各県が全額負担すべきという義務教育費国庫負担制度の見直し論を強調しています。

これは、一〇四国会での海部文部大臣の「事務職員・栄養職員は、学校の基幹的な職員であり、学校運営のために国庫負担制度の中に、きちんと残すことが大切と考えて、これからもやっていきたい」と答弁していることに反するものであり、給与費

を全額県負担といっても、そのしわ寄せは地方公共団体（市町村）に財政負担を転嫁するものになりません。

学校運営を支えている学校事務職員・学校栄養職員を国庫負担の対象外とすることは、義務教育制度の根幹にふれる大きな問題であります。

よって、教育の機会均等が引き続き確保され、義務教育費国庫負担制度の現行水準を維持するよう強く要望いたします。

治山事業の促進に関する意見書

治山事業は、国土の保全、水資源のかん養、生活環境の保全・創出等を通じて、県民生活の向上や安全でうるおいのある緑豊かな社会づくりのため、生活基盤整備のなかでも最優先で実施されなければならない根幹事業である。

本県は、地形が急峻で地質も脆弱であるうえ、大規模地震對

策強化地域にも指定され、これまで山地災害も数多く発生している。

また、本県は首都圏にありながら自然環境に恵まれ、近年、都市化の進展等により、森林の有する水源かん養、環境保全機能等の高度発揮に対して、県内外の住民の要求が強まっている。これらのことから、あらためて治山事業の重要性を再認識し、治山施設、森林整

備の一層の促進を図らなければならない。

よって、政府におかれては、平成四年度を初年度とする「第八次治山事業五箇年計画」を策定し、積極的な投資規模を確保するとともに、安全でうるおいのある生活基盤の形成、総合的な森林整備による水源かん養機能の増進、安全で緑豊かな生活環境の保全・創出等の治山事業を強力に推進されるよう強く要望する。

治水事業の促進に関する意見書

治水事業は、国土を保全し、水害・土砂災害及び渇水被害から国民の生命・財産を守り、豊

による人命や家屋の災害が、毎年各地で多発している。

かで活力ある経済社会と、安全で快適な国民生活を実現するための生活基盤整備の中で最も優先されるべき根幹的事业である。本県は、地形が急峻であるうえ、県土面積の七八％が山地部で占められており、地質も脆弱であるため、非常に水害や土砂災害を受け易い環境にあり、全国においても、水害・土砂災害

この災害から、国民の生命・財産を守り、豊かで住みよい国土の形成を進めるとともに、水資源の安定確保を図り、国民生活にうるおいたやすらぎを与えるため、河川改修事業、砂防事業、地すべり等防止事業及びダム建設事業等の治水事業の強力な推進は急務である。

よって、国においては、平成四年度を初年度とする「第八次

治水事業五箇年計画」の策定にあたり、投資規模の大幅な拡大を図られるよう強く要望する。

甲府市総合計画 審議委員の推せん

甲府市総合計画審議会委員の推せんについては、議長及び各常任委員会委員長の五名を推せんすることに決しました。

議長 内藤 幸男

総務委員長 末木 隆義

民生文教委員長 大村幾久夫

経済都市開発委員長 飯沼 忠

建設水道委員長 細田 清

白内障人工水晶体

(眼内レンズ)の健康保険

適用に関する意見書

一九八五年(昭和六十年)に厚生省は、一般病院での白内障手術に人工水晶体の使用を許可した。

しかし、健康保険の適用が認められないため、手術の費用は全額自己負担となり、費用を用意できない患者は、人工水晶体(眼内レンズ)の手術が受けられずにいる。

現在、白内障の治療としては、

他に眼の病気がないかぎり人工水晶体の手術をすすめており、手術を希望する患者は、増加の一途をたどっている。

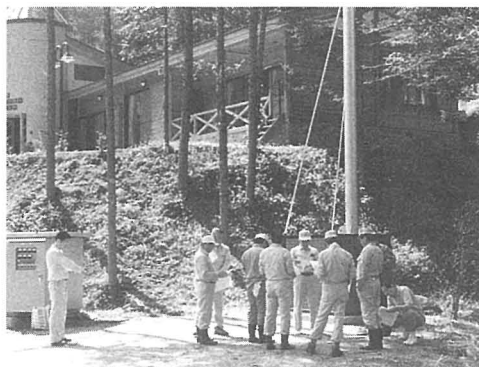
手術を希望するすべての患者が、費用の心配なく手術を受けられるよう、一日も早く白内障人工水晶体(眼内レンズ)に健康保険を適用されるよう強く要望するものである。

閉会中の 議員活動



経済都市開発委員会は所管事項の調査研究のため、十月四日北部山岳地域を視察しました。

市有林の管理運営状況については、水源かん養林としての機能を発揮し、森林の公益的役割を十分に果たしているか、又市民の保健休養施設としてのマウンテンピア黒平については、利用者が自然をのんびりと体感でき、併せて地域の振



興に資するための施設であるかなどの調査をしました。

国内初の姉妹都市

締結へ

奈良県大和郡山市と

甲府市では、国際姉妹都市として、アメリカ合衆国アイオワ州デモイン市、同国カリフォルニア州ロダイ市、フランスアキテーヌ州ピレネー・アトランティック県ボー市、そして、中華人民共和国四川省成都市とそれぞれ姉妹(友好)都市提携を行っております。今回、国内では初めての姉妹都市を大和郡山市と締結する運びとなりました。

甲府市と大和郡山市との歴史的なつながりは、江戸中期、甲府城主柳沢吉里が大和郡山に城替えを命ぜられた際、五二八六人(大和郡山市史)の家臣とその家族が移住した時から始まり、現在でも甲斐から移り住んだ多くの子孫が残っているため、甲府を故郷と考える市民も数多くあるとのこと。

このような歴史的背景により、昭和四十九年十一月に甲府と大和郡山のライオンズクラブが姉妹提携を結び、昭和五十九年には武田家関係者で組織する歴史研究会が大和郡山市との交流を

図っております。

そして、平成二年八月以降三度にわたり大和郡山市長、助役の来甲があり柳沢吉里の縁でぜひ甲府市と姉妹都市提携を図りたいとの要請を受け、甲府市でも平成三年九月四日神宮寺助役を都市提携の事前調査のため大和郡山市に派遣し、施設、旧跡、産業等を視察するとともに、阪奥市長、佐竹助役等幹部と意見交換を行い、相互の理解と信頼を確認しました。

その報告を踏まえ、慎重に検討を重ねました結果、深い歴史的縁で結ばれている両市市民の友好を推進し、広い分野での交流、交換を図っていくには姉妹



都市締結が必要であるとの結論に達し、九月定例会最終日本会議終了後の全員協議会の中で、今後の交流は両市の発展と友好に大きく寄与するものとして、全員一致で承認されました。

なお、締結式は、平成四年二月二十二日に甲府市で行う予定です。

海外に

議員を派遣



北米
欧州
中国

市議会では、第四十四回全国市議会海外行政視察「北米班」十月十七日から二十七日までに福島勇議員を、「欧州班」十月十八日から十一月三日までに堀口菊雄、依田敏夫、剣持庸雄、森沢幸夫、牛奥公貴の各議員をそれぞれ派遣しました。また、今回より中国視察を計画し、十月二十八日から十一月八日まで小沢綱雄、飯沼忠、宮川章司、石原貞夫、皆川 巖の各議員を派遣しました。

議 会 を 傍 聴 し て



議会に深い関心

ききょう婦人学級

保坂 直子

九月二十五日本会議を傍聴しました。傍聴席が満席で、市の行政に多くの人が深い関心を持っていることに、まず感動しました。

最初の質問者は私の住む地区の代表の一人、母性としての細やかな視点での熱心な発言に心を打たれ共感すると共に、議会が一層身近に感じられました。私達のほんの身近な問題もこの様にして解決される事を知り、これからは一人の市民として細部に目を配り、問題を提供する事が市の行政に参加する事であり義務である事に理解を深めました。

答弁では十分でない思いもあり

ましたが解決に向っての熱意は伺えました。より住み良い地域作りが出来ます事を念じます。貴重な学習をする事が出来ました。

甲府市議会は開かれた議会をめぐし、傍聴をお勧めしています。

九月議会は一般質問の三日間、定員を上回る傍聴人がありました。

お一人の感想文を掲載をしました。が、他は紙面の関係で割愛させていただきますが次のような異見もありました。

▼質問が多岐にわたり過ぎ、また用語も不適切なものがあるなど判りにくい。従って答弁もやや義務的。もっと突込んだ議論を期待したい。

▼発言に異議が出て、説明もなく一時間も暫時休憩、発言の取消しなどがなされるなど判りにくい。本会議の権威を疑う：などでした。

厳しい指摘や意見は、発言取消しと暫時休憩にあったが、議会は異なる意見の調整の場でもあるし、不隠当な発言には、規程がなく、発言権と規律との境の問題です。他の議会でもしばしばあることです。しかしご批判は、貴重な意見として今後の議会運営や議員の資質向上の参考といたします。

甲府市議会参加 "91ルート日本海 —太平洋シンポジウム

清水市

八月二十三日清水市民文化会館において"91ルート日本海—太平洋シンポジウムが、清水—甲府—佐久—長野—上越市など沿線十三市、五十五町村の関係者多数が参加し開催されました。甲府市からも山本市長や正副議長、総務、経済都市開発委員など二十名が参加しました。

このシンポジウムは、太平洋側の清水市から日本海側の上越市に通じる中部日本横断自動車道の建設促進を願うもので新潟、長野、山梨、静岡沿線住民二二〇万人の悲願であり、この高速道による時間短縮は、広域物流ネットワーク、

内陸工業と臨海工業を結ぶ沿線地域経済の拡大と活性化につながるもので、四県関係者や商工会議所等経済界の期待するところ大なるものがあります。

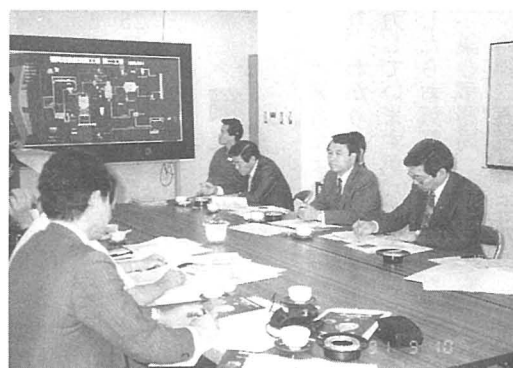
シンポジウムでは、本市商工会議所の若月専務を始め、各市からパネラーが出席し活発な提案がなされ、本市の都市戦略上参考となる面が多くありました。また、シンポジウム終了後の洋上四県交流会では、和やかなうちに各市の意見交換が行われ大変有意義でした。

運動の成果も実りつつあり本年度中には、国土開発幹線自動車道建設審議会も開かれ、全線の基本計画路線化と本県区域内の十五キロメートルが整備計画に格上げされ、二、三年のうちには一部が施行されるなど運動を高めることで早期着工が期待されます。

来年度は甲府市で大会が開かれます。

各常任委員会 先進地の視察

全国の数多くの市では、地域のニーズに合ったそれぞれの特色をもった行政を行っており、それらを視察し本市の行政に生かそうと、議会では毎年一回各常任委員会が先進地の行政視察を行っています。本年も九月上旬に、総務・民生



文教・経済都市開発及び建設水道の各常任委員会は、それぞれの所管事項について調査・研究のため先進地の視察を行いました。

建設水道委員会（細田 清委員長他八名）は、本年度建設に着手する新清掃工場について、本市が採用する機種と同じ「流動床式焼却炉」を採用している福岡市東部清掃工場（第二工場）を視察しました。

福岡市は、これまで可燃性ごみを衛生的かつ効率的に処理するため東部・南部・西部の三つの清掃工場で全量焼却していました。しかし、近年の生活様式や社会状況の変化等による急激なごみ増加に対応するため工場建設に着手し平成二年七月に竣工しました。

この工場は、高カロリーの可燃性のごみを主に処理するため流

